

2 封鎖措置に対する英国の抗議

1513 昭和14年6月15日 在本邦クレーギー英国大使より
有田外務大臣宛(半公信)

天津租界での検問時における英国人への差別
待遇を即時停止方要請

付記一 右和訳文

一 昭和十四年六月十六日付有田外務大臣より在
本邦クレーギー英国大使宛半公信
右要請へのわが方回答

BRITISH EMBASSY, TOKYO.

Immediate 15th June, 1939

My dear Minister,

With reference to our conversation yesterday I am
sorry to say that I have now received news from His
Majesty's Consul-General at Tientsin indicating that the
military restrictions now being imposed on
communications with the British Concession are being

applied in such a way as to constitute definite and grave
anti-British discrimination. According to this report all
British subjects are being held up for from one-half to one
hour and rigorously searched on entering and leaving the
Concession in the same matter as, and together with, all
Chinese. Other foreigners are being allowed to pass
without stoppage or examination. It further appears that
some British subjects, including military in uniform, have
been refused exit.

By no process of reasoning can such discrimination
against British subjects be justified by the Japanese
authorities on the plea either of self-defense or in connexion
with the case of the four Chinese which we discussed
yesterday. I cannot believe that such action has the
authority or even the approval of the Japanese
Government and I must therefore ask Your Excellency to

be good enough to arrange for instructions to be despatched to the proper Japanese authorities in Tientsin to ensure that every form of discrimination against British subjects is at once discontinued.

The matter being, as you will see, very urgent, I should be most grateful if Your Excellency would, if possible, let me have a reply to this letter today in order that I may give His Majesty's Government precise information as to the attitude of the Japanese Government in the matter.

Believe me

my dear Minister,

Yours very sincerely,

R. L. Craigie

His Excellency

Mr. Hachiro Arita.

His Imperial Majesty's

Minister for Foreign Affairs.

(付記 1)

天津租界問題ニ關シ英國大使ヨリ申入ノ件

(昭和四(六)一七 亞一)

六月十五日附「クレイギー」大使發有田大臣宛

至急半公信要譯文

拜啓陳者昨日ノ會談ニ關シ本使ハ更ニ天津英國總領事ヨリ英國租界ニ對スル交通ニ對シ課セラレ居ル軍事的制限ハ決定的ニシテ且重大ナル反英差別待遇ナルカ如ク施行セラレ居ル旨ノ報告ヲ受領シタルコトヲ茲ニ通報セサルヲ得サルモノニ候右報告ニ依レハ英國臣民ハ總テ半時間ヨリ一時間ニ亘リ止メラレタル上租界ヲ出入スル際支那人ト同様ニ且支那人ト同列ニ嚴重ニ取調ヘラレル趣ニ候更ニ軍人ヲ含ム英國臣民ノ一部ハ租界ヲ出スルコトヲ拒絶セラレタルヤニ認メラレ候

如何ナル論理ヲ以テスルモ斯ノ如キ英國臣民ニ對スル差別待遇ハ自衛措置又ハ昨日會談シタル四名ノ支那人ニ關聯セシムルモ正當化スル能ハサルモノニ候本使ハ斯ノ如キ措置カ日本政府ノ權威ニ依リ又ハ其ノ許可ノ下ニ行ハレ居ルモノト信スル能ハサルモノニシテ仍テ本使ハ閣下ニ對シ英國臣民ニ對スル凡ユル形式ノ差別待遇カ直チニ停止セラルル

様天津當該日本官憲ニ訓令ヲ發セラルヘク措置セラレ度キ
旨要請スルモノニ候

御承知ノ如ク本件ハ緊急ナルヲ以テ本使カ本國政府ニ對シ
本件ニ對スル日本政府ノ態度ニ關シ正確ナル情報ヲ通報シ
得ル様今日中ニ本翰ノ回答ヲ得ハ幸甚ニ候 敬具

(付記二)

天津租界問題ニ關シ在京英國大使へ回答ノ件

六月十六日附在京英國大使宛有田大臣

半公信要譯文

(原文英語)

拜啓陳者在天津貴國總領事ヨリ英國臣民ニ對シ差別待遇ト
ナル様英國租界ニ對スル交通制限力施行サレ居ル旨報告ア
リタリトスル昨日附貴翰ニ對シ余ハ貴翰ニ述ヘラレ居ル情
報ヲ未タ受領シ居ラサル旨不取敢申進シ候左レト現在天津
外國租界ニ對スル交通ニ對シ軍事上ノ制限措置力執ラレ居
リ現地ノ必要及各個別の場合ノ性質ニ應スル様種々ノ措置
力執ラレ居ルモノニ候唯斯ル措置ヲ執ルモ絕對ノ必要無キ
限り特定國民ニ對シ不當ノ不便ヲ與フルカ如キハ現地官憲

ノ欲スル所ニアラサル旨茲ニ申添候 敬具

1514

昭和14年6月16日 在英国重光大使より
有田外務大臣宛(電報)

英國政府が天津租界封鎖に対して経済的對抗
手段を検討しているとの報道報告

付記 昭和十四年六月十五日、通商局第一課作成

「租界問題ニ對スル英國ノ對日報復策ニ關ス
ル對策ニ就テ」

ロンドン 6月16日後発
本省 6月17日前着

第六四九號

「十六日「タイムス」外交記者ハ日本側カ天津問題ニ付依
然高壓的態度ヲ持スルニ於テハ英國ハ報復手段ニ出ツヘ
ク妥協ノ餘地ナシトノ見解ヲ持シ昨日來貿易省ヲ含ム政
府各省専門家ニ於テ報復及警告ノ最善ノ方策ニ付テモ檢
討ヲ重ネツツアリ尙政府ハ各自治領代表ニ對シテハ一切
ノ情報及政府ノ執ラントスル方策ヲ通報シ居リ又米佛兩
政府トモ緊密ナル聯絡ヲ執リツツアル旨ヲ報ス

尙又英國輿論ノ惡化ヲ反映シテカ暫ク中絶セル所謂平和團體及個人ヨリノ反日投書弗々當館ニ舞込ミ始メタリ

二、十六日ノ路透ニ依レハ月曜日閣員ノ會合行ハレ主トシテ經濟的ニ對抗手段ヲ執ルヘキヤ否ヤニ付各省特ニ貿易省研究ノ報告ヲ聴取スル筈ニシテ外相ハ週末ニモ拘ラス本問題ニ付終始緊密ナル聯絡ヲ持スルコトナリ居ル旨報ス

三、十六日ノ本件ニ關スル政府聲明ハ同盟ヲシテ全文打電セシメ置キタリ

(付記)

(二四、六、一五)

租界問題ニ對スル英國ノ對日報復策ニ關スル

對策ニ就テ

(通商局第一課)

天津租界封鎖問題ニ關聯シ經濟的報復手段考究中ナル趣ナルヤニ傳ヘラルル處

一、英帝國自治領ハ何レモ廣汎ナル自治權ヲ有シ居リ又自治領中ニハ日本トノ親善關係増進ヲ重要視シ居ルモノアリ

(例ヘハ濠洲ニ於テ「メンジス」首相最近ノ聲明等ニ於テ之ヲ見ル)直ニ英國ノ示唆ニ依リ動クモノトハ考ヘラレス

二、又印度ニ付テ之ヲ見ルモ同國ハ經濟問題ニ付テハ廣汎ナル自治權ヲ有シ居ルノミナラス日本トノ貿易關係重要ナルヲ以テ容易ニ英國ノ指圖ニ從ヒ對日經濟壓迫ニ乗出スモノトハ考ヘラレス

三、之ニ反シ直轄植民地及保護領ニ於テハ原則トシテ英本國ノ指令ニ依リ其ノ政策決定セラルルモノナルニ付キ英本國ノ覺悟次第ニテハ前記措置ヲ執ルニ至ルコトアルベシ(尤モ直轄植民地ニアリテモ錫蘭ハ相當大ナル自治權ヲ有ス)

然レトモ現下ノ國際狀勢ニ鑑ミルニ英國ニ餘程ノ覺悟ナキ限り傳ヘラルル如キ前記報復手段ヲ採リ日本ノ對英感情ヲ此ノ上惡化セシムルコトハ英國ニ取リテモ不得策ナリト思考セラルルニ付キ右ハ一種ノ「ゼスチュア」ナリトノ觀ナキニシモ非ス

萬一英國ニ於テ報復手段ヲ採リタル場合我方ニ於テ右手段ニ對シ如何ナル報復方策ヲ實行シ得ヘキカノ問題ニ關シテ

ハ客年以來企畫院第二委員會ニ於テ考究ヲ遂ケタルカ經濟
的ノ報復手段トシテ我方ニ於テ採用方考慮シ得ルモノハ本
邦及滿洲ニ於テハ

(一)英系會社ノ爲替及輸出入ニ關スル許可ノ遲滯又ハ不許可
(二)配當金海外送金ノ遲滯又ハ不許可

(三)英國產品ノ輸入ニ付差別待遇ヲ爲スコト

(四)海運報復方策即チ

(イ)本邦輸出入貨物ノ船積阻止

(ロ)荷役ノ禁止妨害

(ハ)炭水食糧等ノ補給禁止

(ニ)寄港ノ停止

支那ニ於テハ

(一)我勢力範圍内各地ニ於ケル輸出入管理ノ運用ニヨリ差別
待遇ヲ爲スコト

(二)英國商社ノ奧地營業及奧地トノ通商妨害ヲ考慮スルコト

(三)揚子江及珠江開放後ニ於テ英國船舶ニ對スル航行權ノ制

限又ハ停止

(四)我勢力範圍内ニ於ケル英國企業乃至利益ニ對スル壓迫
等ヲ舉ゲ得ルモ右報復方策ハ更ニ英國ノ本邦ニ對スル報復

ヲ誘發スル惧アリ實行ニ際シテハ充分利害得失ト諸般ノ情
勢ヲ考慮シ措置ヲ誤ラサルコト肝要ナリトノ結論ニ到達セ
リ

~~~~~

1515

昭和14年6月16日

在英國重光大使より  
有田外務大臣宛(電報)

天津租界問題に對し日英双方が慎重な対応をと  
るべきとの英國首相側近者よりの伝言について

ロンドン 6月16日後発

本 省 6月17日前着

第六五〇號

天津事件ニ關シ十六日首相側近者ヨリ本使ニ對スル傳言ヲ  
以テ今回ノ事件ハ世界的國際關係ノ動キニ敵味方共之ヲ利  
用セントスル氣配モ見ユルニ付日英關係全局ヨリ英國側ニ  
於テハ非常ニ慎重ニ取扱居レリ若シ現地ニテ衝突等此ノ上  
不慮ノ事件發生スルニ於テハ其ノ結果ハ豫想ヲ許ササルヲ  
以テ斯ルコトナキ様注意シ居レルカ日本側ニ於テモ殊ニ現  
地ニ對シ充分ノ注意ヲ與ヘラルル様切望ニ堪ヘスト申越シ  
來レリ依テ當方ニテハ右ノ點ハ勿論日本政府ノ考慮ニ上リ

居ルコトト思考スルモ御希望ノ點ハ了承セリ尙英國側ニ於テハ日本側ノ合理的主張ニ考慮ヲ拂ヒ速ニ直接交渉ニ依リ現地解決ヲ計ル様此ノ上共努力セラレタシト回答シ置ケリ右ハ英外相ヨリ直接ノ申出ニハ非サルモ御參考迄

1516

昭和14年6月17日

在米国堀内大使より  
有田外務大臣宛(電報)

### 米国国務省の天津租界問題への対応方針につ

#### き観測報告

ワシントン 6月17日後発

本省 6月18日前着

#### 第五三三號(極秘)

天津租界紛争ニ對スル當國一般ノ態度ニ關シテハ屢次ノ往電ニテ御承知ノ通りナル處諸般ノ情報ヲ綜合スルニ國務省方面ノ意嚮ハ

(一)單ナル抗議ハ極東ニ於テハ殆ト無價值ナルヲ知悉シ居ルヲ以テ米人及其ノ權益毀損ノ事件發生セサル限リ事態惡化スル場合ニ於テモ徒ニ抗議ヲ爲スノ愚ヲ避クヘキ處幸ヒ出先ヨリノ報告ニ依レハ今日迄ノ處權益毀損ノ事實ナ

キニ鑑ミ暫ク靜觀ノ態度ヲ變ヘサルヘク英カ非法的解決(マ)ニ成功スルコトヲ望ム念依然強ク

(二)萬一事態米ニ不利ニ展開ノ場合適用スヘキ經濟報復措置ハ鮮カラス存スルモ此ノ際日本ノミヲ惱マスコトハ日本ニ一層激烈ナル行動ヲ執ル口實ヲ與フル結果トナルニ付不得策ト考ヘ居レリ

(三)米國ハ天津ニ租界關係ヲ有セス利害關係間接的ナルニモ鑑ミ差當リ上海廈門ノ事態惡化ノ兆ナキ限り天津問題ノミニテ英ノ陣營ニ立チ愈々日本ヲ日獨伊樞軸ニ追込ムノ結果ヲ招クコトノ賢明ナラサルヲ知り此ノ際天津事件ヲ在支外國租界全體ノ問題トシテ英ヲ鼓舞スルカ如キ印象ヲ與フルヲ避ケントシ

(四)且米總領事ヲ中立委員トスル紛争處理委員案ニハ贊成ニテ右ハ事態ノ推移ニ應シ出先ノ裁量ニ委スノ方針ナルモ國務省力積極的ニ調停者トシテ出馬方ヲ提議スルコトカ日英兩國ヨリ餘程明確ナル要請ナキ限り之ヲ避クヘシト言フニアルヤニ觀察セラレ  
英ヘ轉電セリ

1517

昭和14年6月19日

在天津田代総領事より  
有田外務大臣宛(電報)

英国人への検問時の取扱振りなどをめぐる在

天津英国総領事との会談内容報告

天津 6月19日後発

本省 6月19日夜着

第三八二號

十九日「ジエミソン」本官ヲ來訪シ

一、檢問所ニ於テ英國人ヲ差別的ニ取扱フハ不都合ナリ

二、食糧品特ニ野菜類ノ缺乏ニ惱ミ居ル處右ハ日本側ノ食糧

品搬入阻止ニ起因スルモノナルニ付斯ルコトナキ様取計

ハレタシ

三、北載河ニ避暑致度キ英國人婦女子百數十名アル處一纏メ

ニシテ簡易通行方取計アリタシ

四、最近英工部局巡捕ニ對シ英國ノ走狗タルコトヲ止メテ速

ニ辭職スヘシ云々トノ強迫狀ヲ廻シタル者アル處右ハ日

本憲兵ノ仕業ト思フニ付中止セシメラレタシ

ト申出テタルニ付本官ヨリ一二對シテハ我方ハ英國人ニ對

シ特ニ差別的取扱ヲ爲シ居ル次第ニアラス只英國人ノ中ニ

ハ傲慢不遜ナル者多々アリ且今回ノ事件ノ原因ヨリ心理的

ニ英國人ニ對シ面白カラサル感ヲ懷ク將兵モアルコトナレ

ハ英國人ニ對スル取扱カ我方ニ對シ友好的ナル國民ニ比シ

幾分差違ヲ生スルハ已ムヲ得サル次第ナルヘキ旨ニ對シ

テハ食糧品ノ租界内搬入ヲ阻止スルノ意思ハ毛頭ナク只之

カ搬入ニ際シ檢査ヲ行フ爲幾分遲延且減少ヲ來スコトアル

ヤモ知レサルカ萬已ムヲ得サル次第ナリ三ニ對シテハ遺憾

乍ラ避暑ニ赴ク婦女子ナルノ故ヲ以テ特ニ便宜ヲ供與スル

意思ハ全然之ナク是非檢問ヲ受ケテ通過スル様致サレタシ

右ハ各國人トモ同様ナリ四ニ對シテハ憲兵ノ仕業ト主張セ

ラルルハ如何ナル證據アリヤト尋ネタル處確證アル譯ニア

ラスト答ヘタルニ付證據ノ呈示ナクハ取上クル限りニアラ

スト突撥ネ置ケリ何等御參考迄

北京、上海へ轉電セリ

~~~~~

1518

昭和14年6月19日

在英國重光大使より
有田外務大臣宛(電報)

天津租界問題についてのわが方非公式声明に

関する英国報道振り報告

第六五四號

一般的情報

ロンドン 6月19日後発
本 省 6月20日前着

一、十八日東京發「タイムス」特電ハ東京ニ於ケル日本側ノ
半公式聲明ニ依リ天津問題解決ノ希望復活ヲ見タルカ右
聲明ハ天津問題及犯人引渡問題ニ局限シ日本ノ意嚮ハ今
同ノ犯人引渡拒否ニ表レタルカ如キ北支英國當局ノ不當
ナル政策ヲ匡正スルニ在リ而シテ右ハ他ノ列國ノ政策乃
至在支權益問題ト何等關係ナシト述ヘ居レリ今之ヲ曩ノ
天津軍發表ト比較スレハ甚タ穩健ニシテ事件ハ茲ニ元ニ
戻リ犯人引渡問題ニ縮小セラレタリト見得ル譯ナリ今次
事件ハ單ニ犯人引渡丈ケニテハ解決シ得サルヘキモ將來
同様事件ノ發生ヲ回避スル何等カノ方法ヲ執ルコトニ依
リテ解決ヲ見得ヘシトモ思ハルト報ス

二、十九日同紙社説ハ本聲明ニ言及シ右ハ問題ヲ單純ナル警
察事件ニ局限シ英國ノ新秩序ニ對スル協力ヲ強要シ居ラ
ス事實本件カ地方的問題ナラハ簡單ナルカ之ヲ押シ擴メ
一般的對支政策ニ關係セシムルコトニ依リ由由シキ問題

トナル譯ナリ英國ノ對支政策ハ蔣政權承認及支那ニ於ケ
ル條約上ノ權益ノ基礎ニ立脚ス此ノ基礎ニ於テハ米佛モ
同シ立場ニ在リ但シ天津問題丈ケナラハ紛爭解決ハ不可
能ニアラス日本外務省カ本問題ヲ管掌スルニ至レルヤ未
タ明白ナラサルモ若シ然リトセハ甚タ結構ナリ英國ハ事
態ノ重大ナルヲ認識シ關係列國ト協議ヲ遂ケツツアリ極
東權益擁護ニ當リテハ慎重ヲ期スルト共ニ何等ノ躊躇ヲ
モセサルヘシ云々

三、右「タイムス」以外ノ新聞ハ相變ラス天津ニ於ケル封鎖
振等ヲ相當大袈裟ニ報道シ居レリ論調モ從來通り



1519

昭和14年6月19日 在米國堀内大使より
有田外務大臣宛(電報)

天津租界封鎖など中国の事態に関心を有する
との米國國務長官談話について

ワシントン 6月19日後発
本 省 6月20日前着

第五四二號

國務長官ハ十九日記者會見ニ於テ天津問題ニ關シ米國政府

ハ犯人引渡要求ニ關聯スル天津ノ事件其ノモノニ付テハ關心ヲ有セサルモ其ノ後ノ事態ノ發展ノ性質及重要性竝ニ支那ノ他ノ部分ニ於ケル過去及現在ノ行動及發言ニ關聯スル一層廣汎ナル事態ニ關心ヲ有スルモノナル旨言明セリ
紐育ニ郵送セリ

1520

昭和14年6月19日
在英国重光大使より
有田外務大臣宛(電報)

天津租界での英国人への侮辱的検査や食糧搬入制限に対する英国外相の抗議について

ロンドン 6月19日後発
本省 6月20日前着

第六五八號

「ハリファックス」外相ノ求メニ依リ十九日午後往訪シタル處同外相(「カドガン」次官同席)天津問題ノ一般事項ニ入ルニ先タチ最モ強ク(in the strongest possible term)日本政府ノ反省ヲ求メタキコトアリ右ハ天津ニ於テ英國人ニ加ヘラレ居ル侮辱ナリ、一ハ男子二人ヲ裸體トシテ検査セラルコトニシテ他ハ婦人ニ對スル侮辱的検査ナリ斯ルコトカ

續行セラルニ於テハ遂ニハ兩國ニ取り返シ付カサル重大事件起ルヘキニ付斯ルコトナキ様大局上是非トモ至急適當ノ措置ヲ執ラレタシト熱心ニ述ベ次ニ英租界ニ對スル野菜、氷等ノ搬入制限セラレ困難シ居レリトノ情報ナルカ日本側モ斯ル人道的ノコトニ付テハ當初ヨリ充分考慮ヲ拂フコトナ(リ)?シニ依リ此ノ點ニ付テハ取扱ヲ充分寛大ニシテ貰ヒタシ以上ノ二點カ先ツ最初ニ自分ノ要求シタキ所ナリト述べタリ

依テ本使ハ右二ツノ事件ニ付テ詳細事實ヲ承知シタク新聞ハ常ニ針小棒大ニ傳ヘラルト述ベタル處外相ハ天津總領事ヨリノ報告ヲ讀上ケタルニ付本使ハ是等ノコトニ付テハ「クレーギー」大使東京ニテ折衝シ居ルカ如シ本使ノ接受セル情報ニ依レハ英國人ノ検査ニ付テハ東京ニ於テ「ク」大使ニ對シ總テ必要ノ程度ニ限ラレ居レリト説明シ居ルニ付右ヲ以テ御答ヘスルノ外ナシ尤モ御指摘ノ點ハ日曜日に起リシコトニテ本使ノ有スル情報以後ノ出來事ナルヤモ知レサルニ付右ノ御申入ハ第二ノ食料品ノ問題ト共ニ直ニ東京ニ電報スヘシト答ヘ置キタリ
天津其ノ他ハ貴方ヨリ轉電アリタシ

1521

昭和14年 6月20日

在英国重光大使より
有田外務大臣宛(電報)

天津租界問題を地方的に解決せんとする英国外

相の提議に対し強く反駁について

ロンドン 6月20日前発

本 省 6月20日前着

第六六一號(至急)

往電第六五八號ニ關シ

次テ「ハ」外相ハ天津問題ニ移リ地方問題カ益々紛糾シテ
日英ノ正面衝突トナルカ如キコトアラハ斯ル悲シムヘキコ
トハナシ右ハ何トカシテ避ケタキモノト考フト前提シ

一、元來犯人引渡ノ問題カ事件ノ發端ナルカ之ニ付テハ種々
經緯アリシカ結局英國側ハ中立國ノ代表者ヲ入レタル三
人委員會ニテ公平ニ審査シ犯人引渡ヲ行フカ良シト言フ
コトニ決定セハ之ニ同意スヘシトノ趣旨ニテ此ノ提議ヲ
ナセル譯ナリ若シ日本側ニテ斯ル方法ニテ天津問題ヲ地
方的ニ解決スルト言フ意嚮ナラハ自分ノ最モ歡迎スル所
ナリ

三、日本側ノ表示セル目的ハ天津ノ封鎖ニ依リテ天津地方ノ

「テロ」行爲ノ如キ其ノ撲滅ヲ期シ且兩國ノ一般政策ノ
問題ニ對シ英國側ニ壓力ヲ加フル考ナルカ如シ若シ斯ル
目的ノ爲ニ問題カ擴大セラレ收拾困難ナル事態ニ立到ル
如キコトアラハ自分ノ甚タ遺憾トスル所ナリ元來英國側
ハ天津ノ租界ヲ以テ日本側ノ行動ニ對シテ妨害行爲ノ根
據トナスカ如キ意嚮毫モナシ此ノ點ニ付テハ充分妥協ノ
用意アリ

三、自分等ノ終始希望スル所ハ日英間ノ全局面ノ國交ノ調整
ニシテ之ニ對シテ望ヲ絶タシムルカ如キコトカ今回ノ事
態ノ進展ニ依リテ發生セサルコトヲ希望シテ熄マス

トテ前回ノ會談ニ於テ述ヘタル友好ノ精神ヲ繰返シ述ヘタ
リ右ニ對シ本使ハ左ノ通り應酬セリ

日英兩國ノ國交ヲ繋キ留メタシト言フ御精神ハ自分モ全然
同感ナルコトハ申迄モナシ而シテ更ニ天津租界ヲ以テ支那
ニ於ケル日本ノ活動ヲ阻害スル根據地トスル意嚮ナク充分
妥協ノ精神ヲ發揮スル用意アリトノ證言ヲ得タルコトハ自
分ノ多トスル所ナリ

然ルニ不幸ニシテ今日迄ノ支那ニ於ケル英國側ノ態度ハ日
本ノ行動ニ對シテ常ニ妨害ヲ加フルモノナリトノ印象ヲ日

本ニ與ヘ居レルノミナラス右日本ニ對スル英國側ノ行動ハ
本國政府一般政策ノ反映ナリト遺憾ヲ考ヘラレ居ルコト
ハ之迄度々本使ノ申上ケタル通りナリ現ニ天津問題ノ發端
タル犯人引渡問題ニ付テモ主タル犯人二人ハ引渡サレ居リ
其ノ自白其ノ他ノ舉證ニ依リテ他ノ四人ノ引渡ヲ要求セル
モノニテ斯ル明瞭ナル證據ヲ提示セルニモ拘ラス英國側ハ
物の證據ナシトテ之ヲ拒ミタルコトカ始リナリ支那ノ事態
ヲ少シク承知スル者ヨリ見テ且又幾多ノ支那ニ於ケル先例
ヨリ判斷シテ斯ル英國當局ノ態度カ日本ノ支那ニ於ケル行
動ニ對スル妨害ト解セラルルハ當然ト考フ尙天津問題ニ關
シテハ六月十三日岡本ヲ通スル傳言ニ依リ英國側ハ新證據
ヲ發見セルニ付犯人引渡ヲ再考スルニ依リ封鎖ヲ見合サレ
タシトノコトニシテ時間ノ餘裕モナカリシニ付右ハ早速政
府ニ取次クト共ニ天津ニ於テ日本官憲ト早速交渉ヲ開始セ
ラレタキ旨回答シ置キタリ右ニモ拘ラス英國側ハ天津ニ於
テ何等右様ノ提案ヲ爲ササルノミナラス却テ中立國ヲ交ヘ
タル委員會ノ設定ヲ提議セラレタルハ極メテ不幸ト考フ
(此ノ際「カドガン」トノ間ニ種々問答アリ「カ」ハ日本
側ニ於テ之迄提示セル以外ニモ猶證據アルモ英國側ニ提示

セハ外ニ洩レル惧アリト爲シ斯ル證據ノ提示アラハ犯人引
渡ノ如キハ故障ナクナルト思ハルト述ヘタリ

仍テ本使ハ右様ノ話ヲナスハ今日ノ時期ノ點ヨリ見テ有益
ト思ハレス且當地ニ於テ斯ル點ヲ深ク論スルハ如何カト思
ハル唯前述ノ如ク支部^(耶カ)ニ於ケル事態ヲ少シク承知セル者ノ
目ヨリ見レハ日本側ノ提示セル證據ノ如キハ既ニ充分ニシ
テ之ヲ以テモ引渡ヲ拒ムカ如キハ強テ口實ヲ設ケテ政治的
考慮ヲ其ノ間ニ入レタルモノト視ルノ他ナシ要スルニ天津
ニ於ケル英國當局者カ今「ハ」外相ノ言ハレタルカ如キ極
メテ妥協的態度ヲ以テ至急日本側官憲ニ折衝スルカ捷徑ナ
リト思考スト述ヘ置キタリ)更ニ外相ハ第一點ニ於テ中立
國ヲ入レタル三人委員會ノ提案ヲ以テ英國側カ公平ノ態度
ヲ採リ居レルモノナリト言ハレ且又天津ノ問題ハ一般的ノ
兩國々交ノ問題ニ波及セシメサル様希望ヲ述ヘラレタルカ
自分ノ感想ヲ率直ニ述フレハ右ハ少クトモ日本側ニハ正反
對ニ解釋セサルヲ得スト思考ス若シ外相ノ言ハレル如ク天
津ニ於テ妥協的態度ヲ採ルナラハ何カ故ニ第三國ヲ入ルル
ノ必要アリヤ支那問題ニハ從來ノ經緯ヨリ觀テモ公平ナル
第三者ノ存在セシ例ナシ從テ此ノ提案ハ宣傳ヲ目的トセル

提案ニシテ且又天津問題ニ付テ第三者ヲ引入レ益々問題ヲ一般的ニ擴大シ行カントスル英國ノ趣旨ナリト解釋セラレタルハ英國側ノ聲明及新聞通信等ノ宣傳振ニ依リテモ其ノ感想ヲ深クセシメタリト思考ス「ハ」外相ハ右ニ對シ前記ノ所言ヲ繰返シ自分ノ趣旨ハ前述ノ通り成ルヘク妥協的態度ヲ採ル用意アルヲ以テ日本側モ同様ノ精神ヲ以テ事件ノ終結ヲ圖ラレタシトノ希望ニシテ三人委員會ノ點ハ日本側ニ依リ拒絕セラレタルコトニモアリ更ニ天津ニ訓令ヲ發シテ日本官憲ト接觸シテ交渉ヲ進ムル様訓令ヲ發スヘシ又在東京「クレীগー」ニ對シテモ同様取計フヘシ日本側ニ於テモ之ニ應セラルル様希望スト述ヘタリ仍テ本使ハ右ノ趣早速東京ニ取次クヘシト答ヘ置キタリ

御裁量ニ依リ然ルヘク御轉電アリタシ

~~~~~

1522

昭和14年6月20日 有田外務大臣より  
在天津田代總領事宛(電報)

天津租界での英国人への侮辱的検査や食糧搬入  
制限に対するクレীগー大使の抗議について

付記一 昭和十四年六月二十日付在本邦クレীগー大

使より有田外務大臣宛電書要訳

天津で日本軍が発表した談話に対する抗議

二 昭和十四年六月十九日付

右談話

本省 6月20日後9時0分発

第一九九號(至急)

廿日「クレীগー」ハ本大臣ニ對シ別電第二〇〇號<sup>(省略)</sup>ノ如キ情報ヲ現地ヨリ接受セリトテ貴地ニ於ケル狀況ハ英國民ニ對スル差別待遇又ハ食料供給妨害ナルノミナラズ英國臣民ニ對スル重大ナル侮辱ナリト申入レタルヲ以テ本大臣ヨリ斯ル情報ハ承知シ居ラザルモ現地軍當局ハ交通制限ニ必要ト認ムル措置ヲ執リ居ルノミト信ズト應酬シ置キタリ

尙英國人ニ對スル取扱カ裸体ニスル等アマリニ過度ニ亘リ言ヒガカリヲツケラルルカ如キコトナキ様注意スヘキコトニ關シテハ中央ニ於テモ軍側ト連絡スベキモ貴官ニ於テモ此ノ上トモ軍側ヲ可然御指導相成度

別電ト共ニ北京上海ヘ轉電セリ

(付記一)

天津租界問題ニ關スル件

(昭和四、六三、亞一)

六月二十日在京英國大使ノ有田大臣ニ手交セル覺要譯  
本日ノ新聞紙報道ニ依レハ天津日本陸軍發言人ハ英國租界  
ニ關スル現狀ニ關シ更ニ發表ヲナシタルモノト認メラル右  
發表ハ主トシテ支那ニ於テ權益ヲ有スル英國以外ノ國ノ興  
論ヲ緩和セントシ居ルモノト認メラル右發表ノ一句ニ  
對シ特ニ強キ異議ヲ申立テサルヲ得ス右ハ第三節中ニアリ  
左ノ通り

「日本官憲ハ凡ユル不便ヲ忍ヒ英國外ノ第三國人民力受ク  
ヘキ不便ヲ最小化ナラシメントシツツアリ」

右ハ英國臣民ニ對スル差別待遇ノ明白ナル又公ノ確認ニシ  
テ且英國臣民ニ對シ他ノ第三國人民力逃カルヘキ不便ヲ課  
サントスル意思ヲ表明シタルモノナリ本發表中「不便」ナ  
ルトノ文字ニ代フルニ「缺乏ト侮辱」ナル文字ヲ置キ代フ  
ルトセハ一層眞實ニ近カルヘク何故ナラハ事實日本側措置  
カ今次紛爭ニ何等關係ナキ婦人子供ヲ含ム英國臣民ニ課シ  
居ル所ハ斯ノ如キモノナリ故ニ斯ル缺乏ヨリ生スル如何ナ  
ル騷動又ハ疾病ノ發生等ニ對シテハ日本陸軍官憲カ全責任

ヲ負フヘキモノナリ

十六日附英國大使ニ對スル書翰ニ於テ外務大臣閣下ハ「現  
地日本官憲ハ絕對ノ必要ナキ限り特定國民ニ不當ノ不便ヲ  
與フルコトノ意思全クナキ」旨述ヘラレタリ英國臣民ニ課  
セラレ居ル廣汎ナル缺乏ハ日本政府ニ於テ「絕對ニ必要」  
ナルモノト思考スル能ハサルモノナルヘク在京英國大使ハ  
直チニ現地官憲ニ前記措置ヲ停止スル様指令ヲ發セラレン  
コトヲ信スルモノナリ

編 注 本文書の原文(英文)は省略。

(付記二)

同盟 東亞 第九號 十四年六月十九日

「同報濟」

◎租界隔絶ノ目標ハ英國租界ニ天津軍當局談發表ニ

天津十九日發同盟 租界其後ノ經過ニツキ十九日午後一時  
三十分在天津軍當局談トシテ左ノ如ク發表サレタ

「英國外務省ノ「コンミュニケ」ヲ見ルト本問題ヲ目シテ  
極東ニ權益ヲ有スル一切ノ國ニ關係ヲ有スルガ如ク牽強

附會ノ宣傳ヲ以テ米國ヲシテ火中ノ栗ヲ拾ハシメント躍起トナツテキルノデアル、吾人ハ茲ニハツキリ言フ、我が目標ハ天津ニ租界ヲ有シ蔣政權ノ出店ノ作用ヲ爲シテキル英國租界當局デアツテ他ノ何レノ國デモナク特ニ米國ニ對シテハ儀禮ヲ盡シテ事前ニ諒解ヲ求メ又交通制限開始後ニ於テモ之ニヨツテ生ズル米國人ノ不便ト損害トヲ最少限ニ限定スベク凡ユル手段ヲ講ジテキル即チ獨米其他租界ヲ有セザル第三國人ノ迷惑ヲ減ズル爲今後ニ於テモ可能ナ範圍ニ於テ犠牲ヲ拂フ用意ガアルコトヲ言明スル、之等ノ第三國ハ須ラク天津ニ於テ自國居留民ガ日本側カラドウイフ待遇ヲ受ケテキルカ現地情勢ヲ聽取セラレタイ

三、英佛租界内ニ倚存シテ生活シテキタ善良ナ支那人ノ職ヲ奪フハ決シテ吾人ノ素志デハナイ。故ニ其生活ヲ保證スル手段ニツイテハ十二分ノ考慮ヲ拂ヒ他ニ衣食ノ道ヲ得ル方法ヲ講ジツツアル

三、我が政府ハ屢々在支列國權益ノ尊重ヲ中外ニ聲明シタ第一線軍隊ハ甚大ナル作戰並ニ警備上ノ不便ヲ忍ンデ帝國政府ノ聲明ヲ忠實ニ遵奉シテ來タ、然レドモ英國ガ對日

經濟壓迫等ノ手段ニ出ヅル場合ニ於イテハ、現地當事者トシテハ英國ハ進ンデ權益尊重ノ義務カラ吾人ヲ解放シタモノト解釋シテ差支ヘナイモノト思フノデアル

1523

昭和14年6月20日

在天津田代総領事より  
有田外務大臣宛(電報)

# 天津英仏租界の食糧事情などにつき報告

天津 6月20日後発

本省 6月20日夜着

第三八四號(極秘)

往電第三六八號ニ關シ(天津租界問題對策ニ關スル件)

一、佛租界ハ鮮魚及少量ノ豚肉以外ノ肉類ハ供給ナク殘荷皆無ニ近ク生果實ハ檢問開始前ニ仕入レタル賣殘リアリ野菜及豚肉ハ我方ノ好意ニ依リ多少搬入ヲ許サレタルヲ以テ缺乏ヲ免カレ居レリ食料品ノ價格ハ品薄高ヲ唱ヘ居レルカ罐詰、食料品ハ在荷豊富ニシテ値上リモ顯著ナラサル様子

英租界ノ日常食料品ノ缺乏ハ佛租界ニ比シ甚タシク英租界當局ハ十七日午後ヨリ十八日午前中ニ肉類二二〇封度、

野菜五〇〇封度、蝦三〇〇封度ヲ搬入セシ旨公表シ居レ  
ルカ十九日午後工部局市場ニ付取調ヘタル結果ハ鮮魚、  
生果實、野菜、肉類ハ數日來全ク供給ナク租界民ハ是等  
食料品ノ入手ニ奔命シ居レル様子ナルモ砂糖及小麥粉等  
ハ在庫豊富ノ爲値上リハ約一割程度ナリ（英當局カ小麥  
粉ノ租界外ヘノ搬出ヲ禁止シタル旨十七日附同盟天津電  
報ニテ報シ居レルカ英當局ハ禁止ノ事實ヲ否定シ十二日  
ヨリ十五日迄ノ間二一四一、九九〇袋ノ食料品ノ搬出ア  
リタル旨新聞紙上ニ公表セリ）

## 二、租界内外商ノ貿易業務

民船及苦力極度ノ不足ノ爲外商ハ輸出入困難ニ陥リタル  
處輸出ハ英國系船會社カ「ライター」及苦力ノ手當出來  
ストテ船積ヲ拒否シ居リ英商以外ノ外商ハ輸出貨物ヲ租  
界外ニ搬出シ日本船或ハ英國船以外ニテ輸出セント希望  
シ居レルモ苦力極度ニ缺乏シ貨物ノ搬出事實上不可能ト  
ナリ輸出見合セノ狀態ナリ

## 三、苦力供給難

苦力ハ檢問實施直前食料品ノ缺乏ヲ惧レ租界外ニ逃避シ  
其ノ後供給杜絶シタルヲ以テ事前ニ苦力ヲ罐詰トシタル

者以外ハ苦力ノ入手全ク不可能ニシテ租界内苦力ノ賃銀  
ハ一弗乃至一、五弗ニシテ益々昂騰ノ傾向ナリ  
北京、青島、上海ヘ轉電セリ



1524

昭和14年6月20日  
在上海三浦総領事より  
有田外務大臣宛（電報）

## 天津租界問題をカー大使排斥の好機と見る英 国民間有力者の内話について

上海 6月20日後発  
本省 6月20日夜着

第一六七六號（極秘、館長符號扱）

本官當地着任以來第三國殊ニ英米ノ動向ニ付テハ特ニ注意  
ヲ加ヘ來リタルモ彼等ノ性格竝ニ現地ニ於ケル情勢ニ鑑ミ  
我方ヨリ進ンテ接觸ヲ求ムルコトナク態ト落着キテ靜觀ス  
ルノ方法ヲ機宜ニ適スト認メ此ノ方針ニテ進ミ來レル處最  
近天津問題ノ進展ト共ニ日英關係ノ行詰リ狀態露骨化スル  
ニ及ヒ心アル英國人中我方ニ接觸ヲ求メ來ルモノ漸ク多キ  
ヲ加フル傾向アリ現ニ「リークス」（支那生レ英國人辯護  
士元工部局參事會員ニシテ民間有力者ノ一人）ハ船津ヲ通

（欄外記入）



シ森島參事官及本官トノ私的會合ヲ求メ來レルニ付十九日夜會食セル處談話ハ期セスシテ「カー」大使ノ批判ニ終始シ「リ」ハ劈頭何等カノ方法ニテ日英間ニ極祕ノ話合ヲ遂ケ同大使ヲ現地ヨリ葬去ルコト刻下ノ急務ナリト喝破シ天津問題ノ如キモノヲ此處迄惡化セシメタルハ同大使其ノ人ニシテ當地英人社會ニ於テハ今ヤ彼ニ對シ激怒（フューリアス）シ居ル次第ニテ英人間ノ現下時局ニ對スル感情竝ニ「トピック」ハ茲數日間ニ一變シタル次第ナリ

我々ハ天津租界問題ニ關シ英國側ニ取リ良好ノ解決案ヲ得ルト否トヲ問ハス「カー」ヲ追出ス絶好ノ「チャンス」ト思ヒ居ル次第ニテ此ノ點ニ關シ日本側ニ於テ租界内ニ於ケル銀資金ノ問題又ハ食料封鎖等ニ深入セス犯人引渡問題ヲ追及スルノ方針ヲ堅持セラルルニ於テハ結局ニ於テ「カー」大使ハ現地位ヨリ追出サルコトナリ日英關係ハ茲ニ局面ノ一大轉換ヲ來スコト疑ナシト内話シ尙同大使ハ宋子文竝ニ孔祥熙或ハ蔣介石等兎モ角支那一流ノ人士ト接觸シ之カ支那人ニシテ其ノ國カ支那ナリトノ謬見ヲ懷ケルニアラスヤトノ船津ノ質問ニ對シ「リ」ハ全然其ノ通りナリト之ヲ肯定シ又本官ヨリ今ヤ英國ハ「カー」大使ヲ教育ス

ヘク極メテ高價ナル授業料ヲ支拂ヒツツアルニアラスヤト問ヘルニ對シ英國ハ現下難局ニ際シ「ベビー」ノ外交官ヲ抱ヘ其ノ取扱ニ窮シ居ル次第ナリト答ヘタルヲ以テ本官ヨリ去ル九日「フィリップス」總領事ト日英關係ノ根本的調節方ニ關シ私的會談ヲ遂ケタル次第ヲ内話シ同總領事ハ良ク之ヲ了解シタルカ如ク見受ケタルモ

英國現在ノ外交官及領事官ノ制度ニ鑑ミ右カ果シテ倫敦ニ到達シタルヤ或ハ「カー」大使ノ手許ニ於テ握潰サレタルヤ多大ノ疑問ナキ能ハスト述ヘタルニ「リ」ハ「フィ」總領事ハ多年支那ノ飯ヲ食ヒ良ク物ノ判リ居ル人物ニテ現下ノ事態ニ深憂ヲ抱キ居ルモノナルモ仰ノ如ク現在ノ制度上「フィ」ノ意見乃至貴總領事御申入ノ次第カ充分倫敦ニ通シ居ラサルヘキヲ憂ヒ居ル次第ナリ實ハ右ノ如キ事情ニテ我々英國在留民ノ意見ヲ官邊ヲ經テ倫敦政府ニ傳達スルコト場合ニ依リ極メテ困難ナルニ付我々トシテハ商工會議所及「チャイナアソシエーション」ヲ通シ直接倫敦ニ意見ヲ具陳スルヲ常トシ居ル次第ナリトテ本官ニ對シ先以テ民間ノ代表的人物タル「ジョンス」「ケジック」及「コルダー、マーシヤル」等ト至急懇談ノ機會ヲ作ラレタキ旨要望シタ



ルニ付承諾シ置キタリ

尙「ノース、チャイナ、デイリー、ニユース」社長ヨリモ  
船津ヲ通シ本官トノ會談ヲ求メ來レルニ付二十一日會食ス  
ルコトナレリ御見込ニ依リ往電第一六〇二號等ト共ニ英  
其ノ他ニ轉電アリタシ

北京、天津、南京、漢口、青島、廣東、厦門、香港へ轉電  
セリ

(欄外記入)

天津交渉ヲ北京トスレハ「カー」ノ問題ヲ惹起ス  
我方ヨリ同大使ヲ回避セハ面白カラシ

~~~~~

1525 昭和14年6月21日 在シドニー秋山総領事より
有田外務大臣宛(電報)

天津租界問題をめぐるオーストラリア外務次
官との意見交換について

キャンベラ 6月21日後発
本省 6月21日後着

第一三〇號(館長符號扱)

二十日「ヘラルド」紙ニ依レハ「ガレット」外相ハ天津問
題ニ關シ經濟制裁ヲ實行スヘキヤ否ヤニ付テハ英本國ヨリ
何等ノ通牒ニ接セスト述ヘ又關稅省側ノ意嚮トシテ通商交
渉ニハ差支ヲ生セサルヘキ旨傳ヘ居レルカ二十日「モ」ハ
右ニ關シ通商話合カ中斷ノ惧アリト言ヘルカ本官ヨリ國際
政局ノ變化ヲ氣ニシテハ際限無キニ付至急濠洲側ノ意嚮ヲ
取纏ムヘシト述ヘ順調ニ進ミ居ルカ廿一日外務次官ハ濠洲
トシテハ最後ノ時ハイサ知ラス此ノ事件ニ關係スルコトヲ
好マス唯「ミリタリスト」カ事件ヲ難シクスルモノニシテ
現ニ有田外相モ「ク」ニ對シ自分トシテハ一應ノ考モアル
モ(左様)參ラスト言ヘル旨ノ電報ニ接セリト申シタルニ付
本官ヨリ英國トシテハ此ノ際蔣政權ノ代辨者ノ様ナコトハ
言ハス問題ハ日本ノ北支支配ト言フ事實ヲ認ムルニ在リ又
天津問題ハ其ノ問題ノ「メリット」ニ直面シテ解決スヘキ
ニ依リ事情ヲ知ル天津又ハ東京ニ委セ特ニ北支ヘノ小麥輸
出三倍トモナレル濠洲トシテハ靜觀然ルヘシト述ヘ置キタ
リ

~~~~~

1526

昭和14年6月22日

在英國重光大使より  
有田外務大臣宛(電報)

天津租界問題に関する英国首相の下院答弁に

ついて

ロンドン 6月22日後発

本 省 6月22日夜着

第六七〇號

一般的情報

一、天津封鎖ニ關シ「チエンバレン」首相ハ二十一日ノ下院  
ニ於テ大要左ノ通り述ヘタリ

英人四名検査ノ爲裸ニセラレタル事件以後ハ特ニ事故無  
キ模様ナリ尤モ鐵條網ニハ電流ヲ通シタル由小麥及米ハ  
補給潤澤ナルカ腐敗性食糧ハ激減セリ(野菜等ハ検査ヲ  
要シ延着ス)船舶ハ狀況改善シ停船ヲ受ケス各種事故ニ  
付テハ在京英國大使ニ於テ交渉中ナルカ日本ハ差別待遇  
及不法取扱ヒノ諸件ニ付調査ヲ約シタリ本件ニ關スル日  
本政府ノ立場未タ明瞭ナラス交渉地ヲ東京トスルヤ天津  
トスルヤモ未定ナルカ今明中ニハ更ニ情報ニ接スヘシ北  
京英國駐屯軍ノ半數以上ハ天津ニ駐屯シ居レリ

二、尙本件ニ付蘇聯政府ト協議セリヤトノ質問ニ對シテハ否  
定的回答ヲ與ヘ

日本政府カ苦情ヲ明確ニ申出テサル限り交渉ハ困難ニア  
ラスヤトノ質問ニ對シテハ其ノ通りニシテ日本側カ苦情  
ヲ申出ツルコトヲ希望スト答ヘ

「クレীগー」大使ハ封鎖ヲ認ムル能ハス且英國政府ハ  
英國臣民ニ必需品ヲ供給スル爲必要ナル措置ヲ執ル用意  
アルコトヲ明確ニ申入レタリヤトノ質問ニ對シテハ封鎖  
ヲ認ムル能ハストノ趣旨ヲ申入レシメタリト答ヘタリ

~~~~~

1527

昭和14年6月22日

在天津田代総領事より
有田外務大臣宛(電報)

天津租界での侮辱的検査や食糧搬入制限など英
国の対日抗議は事実には致していない旨報告

天津 6月22日後発

本 省 6月22日夜着

第三八九號

英發貴大臣宛電報第六五八號ニ關シ

英國人ニ對スル檢問檢索カ侮辱的ナリトノ言分ハ當然當ラ

サル所ニシテ婦人ニ對シテハ特ニ慎重ヲ期シ女巡警ヲシテ單ニ外部ヨリ手ヲ觸レ必要アル場合ニ限り稍々嚴重ナル檢索ヲ行フニ止メ居リ又男子ハ幾分嚴重ナル檢査ヲ行フモ裸體ニセル等ノ事實全然ナシ

食料品ニ關シテモ之カ搬入ヲ制限スルノ意圖ナキコト言ハ俟タサル所ニシテ唯野菜類、氷等モ一應檢問所ニ於テ檢査ノ上通過セシメ居ル處運搬支那人中ニハ快ク檢査ヲ應諾セサルモノアリ又大部分ハ多數ノ支那人ニ依リ少量宛搬入セラルル關係上勢ヒ檢査ニ手間取り多少遲延スルノ事實アルモ已ムヲ得サル次第ナリ

北京、上海、英へ轉電セリ

1528 昭和14年6月22日 在天津田代総領事より
有田外務大臣宛(電報)

天津租界での檢問檢索強化のため鉄条網に通
電開始について

天津 6月22日後発
本省 6月22日夜着

第三九二號

檢問檢索強化ノ爲(鐵條網ノ間ヨリ物品ノ受授等ヲナスモノアリ)二十日ヨリ豫テ英佛租界外新公路ニ設備シ置キタル鐵條網ニ電流ヲ通スルコトセリ英ヲ含ム第三國側ニ對シテハ危險ニ付注意方通告シ置キタリ尙右鐵條網ニハ必要ナル箇所ニ危險豫防措置ヲ講シアリ

北京、上海、英へ轉電セリ

1529 昭和14年6月23日 在英国重光大使より
有田外務大臣宛(電報)

天津租界問題の解決に向け英国外務省極東部
長がわが方意向打診について

ロンドン 6月23日前発
本省 6月23日後着

第六七六號(親展、極秘、館長符號)

二十二日極東部長ノ求メニ依リ岡本往訪シタル處天津事件解決ニ關シ東京ヨリ何等カ報道ナキヤトテ情報ヲ求メタル後去十三日自分ノ述ヘタル處カ日本側ニ於テ多少誤解セラレタル模様ナルニ付明瞭ニシ置キタシ自分ハ所謂犯人ニ付從來知レ居ラサリシ事實アルコト發見セラレタルニハ之ヲ

確メテ引渡シヲ再考スルニ付封鎖ヲ延期セラレタシト申出
テタルカ不幸封鎖ハ右ニ拘ラス實施セラレタル爲再考スル
ニ至ラシテ其ノ儘トナリ居ル次第ナリト説明セルニ付岡本
ヨリ右申出テアリタルニ拘ラス英國側ハ天津ニテ混合委員
會ニ關スル提議ヲ爲シタル處事態ヲ紛糾セシメタルハ遺憾
ナリト指摘シ置ケリ

次ニ「ハウ」ハ天津事件ノ解決ニツキテハ日本側ノ意向判
明セサル爲英國側トシテ苦慮シ居ル旨ヲ述ヘタルニ付岡本
ハ日本ノ求ムルトコロハ明白ナリト考フ英國力事毎ニ日本
側ノ邪魔ヲセントスル其ノ從來ノ態度ヲ變更スルコト之レ
ナリ元來天津ノ如キ苟クモ日本軍ノ占領地域ノ最中ニ於テ
日本側ト協力セスシテ日本側ニ盾突キテ遣ツテ行ケルモノ
ニアラス英國側カ其ノ權益ノ保護ヲ求ムルニ於テ特ニ然リ
日本軍占領地域内ニ於テ治安ノ維持ニ付日本側ニ協力スヘ
キハ明白ノ事理ナラスヤト述ヘタルトコロ「ハウ」ハ治安
ノ維持ニ協力スヘシトノ點ハ自分モ尤モナリト思考ス(實
リカ)
ハ英國租界内ニ數千人ノ支那人居住スル事實ヲ最近知レト
述ブト述ヘタルニ付岡本ヨリ不逞ノ支那人カ租界ヲ惡用
シテ抗日運動ノ策源地トシ或ヒハ重慶政府等ト無線ヲ以テ

聯絡シ我軍事行動等ヲ通報シ妨害ヲ爲ス等ノコトハ日本側
トシテ齎^寄過シ得サルハ當然ナリト述ヘタル處「ハウ」ハ此
等ノコトハ此ノ際事件解^決ノ一般問題トナシテ論議シ得ヘク
英國側トシテモ日本側ノ道理アル要求ニハ充分妥協ノ餘地
アルヘシト述ヘ更ニ岡本ヨリ試ミニ銀塊問題ニ言及シ之レ
ハ從來紛糾ヲ重ネタル問題ナルカ聯銀設立ノ際支那銀行側
ハ本件銀ノ提供ヲ約シ居ル次第ナルニ付若シ英佛租界側ニ
テ妥協ノ意サヘアラハ解決ノ方式ハ何レトモ發見シ得ラ
ルヘク其ノ他北支ニ於ケル聯銀券ノ流通問題等モ解決困難
ニアラサルヘシト述ヘタル處「ハウ」ハ聯銀券ノ流通ニツ
イテ既ニ租界ノ税金ニ之レカ使用ヲ認メ居レリト述ヘタル
後取ニ角天津ニ於^{マデ}ニ於ケル從來ノ繁^盛案ハ此ノ際一般的ニ論
議シテ以テ今回ノ天津事件ヲ解決スルコト望マシク此ノ目
的ヲ以テ速カニ東京ニ於テ話ヲ爲サシムルコトトシタシト
ノ意向ヲ操返シ居リタル趣ナリ

~~~~~

1530

昭和14年6月23日

在英国重光大使より  
有田外務大臣宛(電報)

天津租界問題解決のため東京での日英会談開

催方意見具申

ロンドン 6月23日発

本省着

第六七七號(極秘、館長符號)

今回ノ天津問題ニ對シ日本側ノ主張ハ漸次英國政府側ニテ  
諒解スルニ至レルコトハ最近「チエンバレン」首相ノ答辯  
「ハリハックス」外相ノ演説及往電第六七六號「ハウ」ノ  
談話等ニ依リ明瞭ト思考セラレ英國側ニ於テハ犯人引渡シ  
問題ノミナラス天津ニ於ケル諸懸案ヲ一併論議シ妥協的態  
度ヲ以テ事件ノ解決ヲ計ラントスルモノト觀測セラレ「ク  
レーギー」ニ於テモ相當用意アルカ如キ印象ヲ有スルニ付  
貴方ニ於テ此ノ際天津ニ於ケル各種問題ヲ取り上ケ論議セ  
ラレテハ如何カト存ス



1531

昭和14年 6月24日

在英國重光大使より  
有田外務大臣宛(電報)

天津租界における英國人への侮辱的差別待遇  
を一括中止するよう英國外相要求について

第六八四號

ロンドン 6月24日前発  
本省 6月24日後着

外相ノ求メニ依リ二十三日午後往訪セリ

一、外相ハ前回貴大使ヲ通シテ日本政府ノ注意ヲ喚起シ置キ  
タル天津ニ於ケル事件ニ付日本側ノ意嚮ヲ伺ヒ得ルヤト  
問ヘルニ付本使ハ右事件ハ英人二名カ裸體ニセラレタリ  
トノ件及同シク婦人一名カ侮辱ヲ受ケタリトノ件ナルカ  
右ニ關シテハ天津總領事報告ニ依レハ之ヲ何レモ簡單ニ  
否定シ來レリ尙若シ後ヨリ詳細ノ公報ニ接スレハ御知セ  
スヘシ

尙其ノ他二「スミス」事件アリ右ハ前回貴方ノ指摘セラ  
レタル中ニハ含マレ居ラサル様ナルカ其ノ内容ハ斯様ナ  
リトテ天津發大臣宛電報第三八七號ニ依リ大體ヲ説明セ  
リ

二、外相ハ右説明ニ對シ英國政府トシテハ甚タ不満足ニシテ  
其ノ後モ同様ノ事件又復發生セルコトハ新聞記事ニ依リ  
御承知ノ通りナリ之ニ對シテ嚴肅ニシテ且強硬ナル抗議  
(solemn and strong protest)ヲ提出セサルヲ得ス即チ事

件ハ天津租界境界線ニ於テ英人ニ對スル侮辱行爲 (indignities) 及差別待遇 (discrimination) カ今尙續行 (remains unabated) セラレ居ルコトナリト言ヘルニ依リ本使ハ右新聞記事ト言ハルルハ恐ラク今日ノ「タイムス」所載天津通信(往電第六八三號)ノコトト思ハルルカ自分ハ新聞報道ハ之ヲ信用セス貴外相ノ有スル公報ニ依リテ承リタシト述ヘタル處先方ハ公報ヲ取出シ之ヲ讀上ケタリ右ニ依レハ六月二十二日午前五名ノ英人境界線ニ於テ脱衣ヲ命セラレ「ズボン」靴下靴ヲ脱シメラレタリ是等五名ハ鐵道關係事務員ニシテ毎日四回仕事ノ爲ニ租界外ニ出テサルヘカラサル關係上封鎖境界ニ於ケル日本側検査員ニ良ク知ラレ居ル者ナリ而シテ同様ノ關係ニ在ル一下級瑞典人鐵道事務員ハ何等ノ検査ヲ受クルコトナクシテ通行ヲ許可セラレタリト言フニ在リ外相ハ次テ斯ノ如キ侮辱的且差別的取扱ハ辯護ノ餘地ナキモノト言ハサルヘカラン是等事件續發ニ依ル英國内ニ於ケル輿論及感情ノ激昂ノ結果ハ既ニ極メテ危険ナルモノアリ (Extremely dangerous) 日本政府若クハ日本出先官憲カ英國トノ間ニ特ニ喧嘩ヲ求ムルト言フニアラサル限り此

ノ種事件ノ續行ヲ理解スル能ハス即チ自分トシテハ天津事件ノ解決ハ前回會談ノ精神ニ依リ飽迄解決センコトヲ希望スルモ先ツ斯ル英人ニ對スル侮辱的及差別的行爲ヲ一括中止シテ貰フコトヲ貴大使ヲ通シ日本政府ニ對シ最モ強硬ニ要求スルモノナリト述ヘタリ

三、本使ハ之ニ對シ右様ノ事件發生セリヤ否ヤニ付テハ當方トシテ何等情報ヲ有セサルニ付其ノ旨オ答ヘスルノ外ナキカ同様ノ要求ヲ從來ノ經緯ニ依リ東京ニ於テモ爲サルル意嚮ナリヤト問ヘル處勿論其ノ積リナルカ何分ニモ事急ヲ要シ重要ナルニ鑑ミ貴大使ヲモ煩ハス次第ナリト述ヘタリ依テ本使ハ英政府ノ御希望ハ之ヲ政府ヘ傳達方取計フヘシト答ヘ置キタリ

天津ヘ轉電セリ

1532

昭和14年6月24日 在英国重光大使より  
有田外務大臣宛(電報)

天津租界問題に関する英国抗議への回答振り請訓

ロンドン 6月24日前発  
本省 6月24日後着

第六八五號

天津發貴大臣宛電報第三八九號二關シ

二十三日「ハ」外相ト會談ノ際本使ヨリ我方現地ヨリノ公報ニ依レハ同外相指摘ノ如キ事實ナキ旨述ヘタル處外相ハ英國側ノ公報ハ委曲ヲ盡シ問題ノ男子ノ裸ニセラレ口ニスルヲ憚ルカ如キ侮辱ヲ受ケタル詳細ノ模様ヨリ支那巡捕カ女子ニ浴ヒセタル侮辱ノ支那語迄記載シアリ(委細讀上ケタリ)其ノ事實ナシト言フカ如キ漠然タル打消ニテハ納得シ得ス新ナル問題ニ付納得シ得ル丈ケノ説明ヲ得度シト述ヘタリ就テハ往電第六五八號(往電第六五九號參照)及往電第六八四號(往電第六八三號參照)報道ノ種トナルカ如キ似通ヘル事實ニテモナキ次第ナリヤ真相回答振ト共ニ詳細至急御回電相成度シ

往電第六五九號ト共ニ天津ヘ轉電セリ

1533

昭和14年6月24日

在天津田代總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

米国人への検問時の取扱い振りに関する在天

津米國總領事との会谈内容報告

第四〇〇號

天津 6月24日後発  
本省 6月24日夜着

本廿四日米國總領事本官ヲ來訪豫テ書面ヲ以テ依頼越シタル米人及米人荷物ノ簡易通過方ニ關シ重ネテ事情ヲ説明シ例ヘハ米國人ハ檢査所ヲ經スシテ通過セシムル様取計ハレタキ旨依頼シタルニ付本官ハ外國人ノ取扱殊ニ米國人ニ對スル取扱ニハ特ニ注意ヲ拂ヒ軍側ニ於テモ出來得ル限り便宜ヲ供與シ居ル次第ナルカ今回ノ檢問檢査ハ御承知ノ通り嚴重實施スル建前ニモアリ旁米國人ノミ檢査ヲ省略シテ通過セシムルニ於テハ其ノ他ノ諸國ヨリモ同様要求アルヘク斯テハ檢問ノ目的ヲ達セス結局無效ニ終ラシムルコトトモナル譯ニテ從テ貴意ニ副フコト困難ナルヘキモ目下折角軍側ト聯絡シ出來得ル限り米國人ニ對シ便宜供與スル様考慮スル旨答ヘタルニ貴方ノ事情ハ一應諒トスルモ米總領事館モ毎日ノ如ク米人ノ陳情ニ接シ居ル有様ナルニ付此ノ上共好意的措置ヲ得度キ旨述ヘタリ

尙本官ヨリ其ノ後貴國政府ヨリ何等申越シタルコトアリヤト質問シタルニ米總領事ハ格別ノ事ナク只實情ヲ詳細ニ報

告スヘキ旨申來リ居ルノミト答ヘタルカ其ノ際同總領事ハ  
信スヘキ筋ノ情報ナリト前提シ日本軍ノ英國人ニ對スル非  
人道的取扱ノ情報カ米國ニ傳ハリ「センセイション」ヲ捲  
起シ居ル趣ナリト附言セリ  
北京、上海、米へ轉電セリ

1534

昭和14年6月24日  
在天津田代總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

天津租界検問時における英国人取扱い事情に  
つき報告

天津 6月24日後発  
本省 6月24日後着

第四〇二號

本官發英電報  
(宛カ)

第三號

貴電第三號ニ關シ

御申越ノ如キ英國人虐待ノ事例ハ大部分ハ「ルーター」ノ  
宣傳的報道ナルモ二、三ノ實例アリタルハ事實ナリ前電ニ  
テモ申進メタルカ如ク日本兵ハ租界問題從來ノ經緯ヨリ英

國人ニ對シ頗ル惡感情ヲ抱クト共ニ英人側ニ於テモ甚タ不  
遜ナル態度ニ出ツル者鮮カラサルニ依ルモノニシテ假令司  
令部ノ一般的命令アリタリトスルモ個々ノ場合必スシモ履  
行不可能ナルヘシ

但シ斯ノ如キハ明カニ交通制限ノ目的ヲ逸脱シ其ノ影響ス  
ル所僅少ナラサルニ鑑ミ當方ニ於テハ一方軍側ニ對シ斯ノ  
如キ不必要ナル且人道問題ニ觸ルル如キ措置嚴禁方屢次嚴  
重申入ルルト共ニ地方各國領事ニ對シ證明書ヲ携行セス或  
ハ不遜傲慢ナル態度ヲ執ル爲免角面白カラサル事件ヲ惹起  
セルニ鑑ミ各自國民ニ對シ嚴重戒告方同交通牒ヲ發シ置キ  
タル次第ナリ

大臣、北京、上海へ轉電セリ

1535

昭和14年6月25日  
在英国重光大使より  
有田外務大臣宛(電報)

天津租界問題に関する英国首相演説および英  
国新聞論調報告

ロンドン 6月25日後発  
本省 6月26日前着



## 第六九二號

### 一般的情報

一、「チエンバレン」首相ハ二十四日「カーデイフ」ニ於テ演説シ天津問題ニ言及シ日本側出先官憲力聲明ヲ發シ本件ヲ利用シテ英國其ノ他列國ノ對支政策變更ニ關スル法外ナル要求ヲ爲セル爲事態ハ紛糾ヲ來シタリ尤モ今日迄ノ所日本政府ヨリハ何等正式ニ此ノ種要求ノ呈示ナク問題カ當初ノ懸案ニ限局セラルルニ於テハ右ハ交渉ニ依リ解決可能ナル筈ナリ但シ如何ナル英國政府ト雖天津ニ於ケルカ如キ英國臣民ノ取扱ヲ默視スル能ハス又其ノ外交政策ニ付他國ノ指圖ヲ甘受スル能ハス余ハ日本政府ニ斯ル意圖ナク軍人ノ行爲ヲ默認スルモノニアラス且在支英人ノ權益ニ挑戰スル意圖ナシト想像シ差支ナキモノト考フトノ趣旨ヲ述ヘタリ(尙英國ハ平和擁立ヲ欲スルモノニシテ對獨包圍政策ヲ取ルモノニアラスト強調シ再軍備ノ進捗振ヲ力説セリ)

二、二十五日ノ各紙ハ天津ノ事態依然タルモノアリト報シ日本側カ北支各地特ニ芝罘方面ニ於テ排英示威運動ヲ指導シ居ル旨ヲ傳ヘタルカ「サンデータイムス」外交記者ハ

天津ノ情勢ニハ左シタル變化ハ無キモ近ク東京ニ於テ交渉開カルルヤモ知レス

元來英國政府ハ天津問題ヲ地方的ニ解決セント欲シ日本側ノ苦情ニ付テハ協議ヲ回避スル意嚮ナカリシニ拘ラス封鎖強行ニ依リ交渉不能ニ陥レル次第ナリ日本カ交渉ニ應セス現在ノ政策ヲ固執スル際ノ對策ハ尙決定ヲ見居ラス經濟報復ハ此ノ效果アラシムル爲ニハ大規模トセサルヘカラス却テ戰爭狀態誘發ノ惧アルニ鑑ミ各員ニ於テモ右カ果シテ最良策ナリヤニ付疑惑ヲ抱キ居レリ政府ハ英國ノ支那ニ於ケル地位ヲ放棄スル考ナク此ノ上威信ヲ傷ケラルルニ於テハ速ニ何等ノ行動ニ出ツル要アリト爲シ居ル處經濟報復ヨリハ極東ニ於ケル艦隊集中ヲ考慮スルコトトナル模様ナリト報道セリ尙同紙ハ社説ニ於テ合理的解決ノ可能性アル限りハ進ンテ日本ト衝突ヲ求ムルハ不利ナリ蓋シ此ノ際ニ於ケル日英戰爭ノ突發ハ獨逸ノ思フ壺ニ嵌ル所以ニ過キス此ノ點ハ議會ニ於テ對日強硬論ヲ唱フル人士ノ銘記スヘキ所ナリト論シタリ

尙各紙ハ英米海軍當局カ汕頭ニ於テ強硬態度ヲ示シタル爲日本側ハ軟化シ外國船舶ノ同港出入ノ自由ヲ認ムルニ

至レリト報シ居レリ

1536

昭和14年6月26日

有田外務大臣より  
在英国重光大使、在天津田代総領事宛  
(電報)

天津租界での英国人への侮辱的検査に関する  
クレイギー大使の抗議について

別電一 昭和十四年六月二十六日発有田外務大臣より

在英国重光大使、在天津田代総領事宛合第一

四二五号

右抗議文

二 昭和十四年六月二十六日発有田外務大臣より

在英国重光大使、在天津田代総領事宛合第一

四二七号

右侮辱的検査に関する英国覚書要旨

本省 6月26日後11時0分発

合第一四二三號

二十五日「クレイギー」大使澤田次官ヲ來訪シ要領別電第一四二五號ノ如キ公文ヲ手交ノ上斯ル英國人ニ對スル侮辱

の差別待遇ヲ差止ムル様至急手配アリ度ト申入タル後斯ル取扱カ續行スルニ於テハ折角東京ニテ會談ヲ始ムルモ其ノ成功覺束ナク又英國政府トシテモ或ハ輿論ニ引摺ラレ日本側ノ侮辱的措置ヲ發表スルノ止ムナキニ至ルヘシト述ヘタルヲ以テ次官ヨリ英國側カスル報道ヲ發表シ輿論ヲ刺戟セシコトヲ目的トスルナラハ兎モ角會談開始ニ付速ニ同意セラルレハ自然現地ノ事態モ緩和セラルルコトナルヘキヲ以テ英國側ハ抗議ヨリモ會談開始ヲ急ク方得策ナルヘシト答ヘタリ

右ニ對シ大使ヨリ重ネテ斯ル取扱カ繰返サルルニ於テハ會談續行ハ不可能ナル旨繰返シタルヲ以テ次官ヨリ會談開始ニ先立チ檢問手續ノ緩和ヲ約束スルコト能ハサルハ先般大臣ヨリ申聞ケタル通りナル旨明ニシタル處大使ハ少クモ裸ニスルコトタケハ止メラレ度旨依頼シ居リタリ

尙同日在京英國大使館陸軍武官「ピゴット」モ陸軍次官ヲ訪問シ同様ノ申出ヲ爲シタル趣ナリ

本電及別電宛先 英、天津

別電ト共ニ北京、上海、南京ニ轉電セリ

(別電一)

本省 6月26日後11時0分發

合第一四二五號

一、本使ハ本國政府ノ訓令ニ基キ二十三日在天津「ニュージ  
ーランド」政府代表「セシル・デヴィス」ナル者カ日本  
軍ニ依リ重大ナル侮辱ヲ加ヘラレタルコトニ關シ閣下ノ  
注意ヲ喚起スルモノナリ右事實ハ別添覺書(別電第一四  
二七號)ニ明カナルカスル行爲ハ五月十五日以來閣下ニ  
對シ注意ヲ喚起シ來リタル種々ノ事例ニ依ルモ現地日本  
官憲ニ依リ故意ノ挑發カ英國臣民ニ對シ與ヘラレ居ルヲ  
明カニセリ

二、二十一日外務省「スポークスマン」ハ檢問ニ際シ英國臣  
民ニ對シ傳ヘラルルカ如キ侮辱及差別待遇ヲ與ヘタルコ  
ト絶對ニナキ旨述ヘタル趣ナルモ右ハ事實ニ反スルモノ  
ナリ

三、閣下ハ英國臣民ニ對シ差別待遇ヲナシ其ノ食糧ヲ制限シ  
且彼等ヲ虐待シ侮辱スルカ如キハ日本政府ノ意思ニ非サ  
ル旨述ヘラレタルモ二十三日倫敦ニ於テ外務大臣ヨリ重  
光大使ニ話サレタルカ如ク重大ナル侮辱カ續行セラレ居

リ右ハ英國ニ於ケル輿論ノ憤激ヲ惹起シツツアリ仍テ本  
使ハ本國政府ノ訓令ニ依リ支那ニ於テ平和的ニ居住シ通  
商シ得ル權利ヲ有スル英國臣民ニ對シ適當ノ尊敬ヲ拂フ  
ヘキ様至急措置セラレンコトヲ要請スルモノナリ

(別電二)

本省 6月26日後11時0分發

合第一四二七號

一、「セシルデイヴス」(天津「カンツリー」俱樂部會長  
「ニュージーランド」政府名譽代表)二十三日租界ヲ出テ  
ントシタル際脱衣スヘキ旨命セラレタルヲ以テ斯ル手續  
ニ從ハンヨリ租界ニ留マルヘシトシタル處監督將校ハ同  
人ノ顔ヲ打チタリ其ノ後日本人三名來リタルヲ以テ同人  
ハ檢問ヲ受クル外道ナキヲ悟リ檢問ニ從ヒタルカ十五分  
以上モ「パンツ」ノミニテ婦人ヲ含ム通行人ノ前ニ立タ  
サレタリ

二、「ハウス」及「ロード」ハ通行人ノ視野ニアル小屋ニ立  
タシメラレタル上「ハウス」ハ五分間モ全裸体ニセラレ  
「ロード」ハ「パンツ」ノミニテ約十分間モ立タシメラ

第四一〇號

レタリ尙其ノ折「ロード」ハ口ヲ開クコトヲ命セラレタルカ日本人ハ其ノ開キ方ニ不満足ナリシカ「パスポート」ヲ取り「ロード」ノ口ニ押シ込ミタリ兩人ハ股ヲ開キテ立タシメラレ股間ヲ検査セラレタリ右検間ハ約二十分ヨリ二十五分ニ亘リタリ

三、食糧ニ關スル干涉

日本側ハ英國租界ニ對スル租界向ケ食糧ヲ積載シ居ル小船ヲ差止メタリ佛國租界當局ト日本トハ食糧ノ供給ニ關シ特別ノ取極出來タル趣ナルモ英國租界ニ於テハ日本側檢問措置ノ爲二十一日野菜類ハ通常ノ十分ノ一ノ量ノミシカ存在セス氷ハ全然入手シ能ハサリキ

1537

昭和14年6月27日 在天津田代總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

天津租界に関するロイター通信等の記事は捏造であり取締方英国側へ要求について

天津 6月27日後発  
本省 6月27日夜着

檢問檢束<sup>(索カ)</sup>實施以來英國人中ニハ尊大橫柄ナル態度ヲ持シ故意ニ事ヲ構ヘルカ如キモノアリ一方英國側ニ於テハ路透通信等ニ依リ些細ノ事柄ヲ龐大ニ報シ居ルノミナラス毎日的「ニュース」ヲ捏造シ各方面ニ報送宣傳ヲナシツツアリト認メラレタルヲ以テ本官ハ廿五日附書面ヲ以テ右取締方嚴重要求シ置キタリ抗議書寫郵送ス  
北京、上海、英へ轉電セリ

1538

昭和14年7月4日 有田外務大臣より  
在天津田代總領事宛(電報)

天津英租界への牛乳供給が途絶した旨クレイ  
ギー大使抗議について

本省 7月4日後9時40分発

第二三九號

貴電第四二八號ノ一二關シ

四日「クレイギー」ハ本大臣ニ對シ日本側ハ二日ノ豫告期間ノ後二日及三日ニハ遂ニ牛乳ハ全然租界ニ搬入セラレザリシトテ右ハ租界内ニ於ケル兒童ノ健康ニモ關係アリ非人道的ナレバ停止セラレ度旨要請越セリ

右申出デハ必ズシモ事實ニアラズト思考セラルルモ英側宣傳ノ惧レモアリ實情回電アリタシ

英、北京、上海へ轉電セリ

1539

昭和14年7月7日  
有田外務大臣より  
在天津田代總領事宛(電報)

天津英租界への牛乳搬入問題につき軍側へ自  
制要求方訓令

本省 7月7日後4時発

第二四五號

貴電第四三七號ニ關シ

英租界ニ對スル「ミルク」供給ニ關シテハ依然問題アル様思ハルル處食糧供給ヲ差止メストノ建前モアリ斯ノ如キ些細ノ問題ニテ先方ニ刺戟ヲ與フルハ面白カラサルニ付貴官自身ノ發案ノ形ヲ以テ軍側ニ對シ自制方適當申入レ置カレ度

英、北京、上海ニ轉電セリ

1540

昭和14年7月8日  
在天津田代總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

天津英租界への牛乳搬入を差止めた事實はな  
い旨報告

天津 7月8日後発  
本省 7月8日後着

第四五七號

貴電第二四五號ニ關シ(天津英租界「ミルク」搬入問題ノ件)

往電第四四九號ノ通り生牛乳ハ現ニ搬入セラレ居リ差止ハ絶對ニ事實無根ニシテ檢問所ニ於テモ凡ユル物資ニ對シ檢査ヲ行ヒ居レルカ一時ニ多量ヲ持込マントスル場合ニハ自然時間ヲ要スル爲牛乳等ノ場合ニハ腐敗ヲ來スコトアリ得ヘシ然レトモ生牛乳ノミヲ特ニ寛大ニ取扱フ理由ナク(婦人用等ハ別問題ナルモ右ハ英國軍隊ニ依リ搬入セラレ居ルコト前電ノ通り)從テ問題ハ檢問開始後租界内居住者ノ蒙ルニ至リタル各種不便ノ一例ニ過キスト認メラル

北京、上海、英へ轉電セリ

1541

昭和14年7月12日

在北京堀内大使館参事官より  
有田外務大臣宛(電報)

天津租界封鎖を海上に延長し英国船舶を臨検  
せんとする軍側意向に対し自制方要請について

北京 7月12日後発

本省 7月12日夜着

第八二一號(極秘、館長符號扱)

往電第七八九號ニ關シ

軍司令部ニテハ租界封鎖ヲ更ニ嚴重ニスル意味ニテ檢問檢  
索ヲ海上ニ及ホシ英國船ヲ臨檢搜查セントノ意嚮ヲ有シ當  
方ノ意見ヲ求メ來レルニ付當方トシテハ斯ル措置實行ニ對  
シ理由ハ何トテモ附ケ得ヘク食料品等ノ運搬其ノ他通商阻  
止ニ依ル英國側ニ對スル嫌カラセ手段トシテ效果ナキニア  
ラサルヘキモ他方本件實施方法カ陸上ト異リ目的物カ船舶  
ナル丈ケニ「スケール」モ大ニシテ「トラブル」發生及程  
度モ遙ニ大ナルヘク其レ丈ケニ之カ畫ク波紋モ甚大ナルヘ  
キニ付大局上果シテ有利ナルヘキヤ俄ニ豫斷シ難ク而シテ  
東京交渉モ見透シ付カサル目下ノ情勢ニ於テハ直ニ贊成シ  
難キ旨述ヘ置キタリ

上海、天津、<sup>(英方カ)</sup>ヘ轉電セリ

1542

昭和14年7月14日

在天津田代総領事より  
有田外務大臣宛(電報)

天津租界封鎖による米国人の不便に關しわが  
方立場に了解あるよう在天津米國總領事へ説  
明について

天津 7月14日後発

本省 7月14日夜着

第四八三號(極秘)

檢問開始以來米國人ニ對シテハ特別ノ便宜ヲ取計ヒ來レル  
次第ハ累次報告ノ通りニシテ獨逸人邊ニハ聯盟獨逸ヨリモ  
米國ニ厚シトテ嫌味ヲ述フル者スラアル處最近當地軍部ノ  
得タル情報ニ依レハ在當地米國總領事ハ本國政府ニ對シ米  
人個々ノ苦情ニ對シテハ日本側ヨリ相當ノ便宜ヲ得居ルモ  
之ヲ綜合スルニ檢問檢索ニ依リ米人ハ大損害ヲ蒙リ日々陳  
情殺到シ居ル有様ナル旨報告セル趣ナリシヲ以テ十三日本  
官米總領事往訪ノ上今回ノ交通制限ニ當リ我方トシテハ米  
人ニ對シ出來得ル限りノ便宜ヲ供與シ居ルモ平常ノ事態ト

異り多少ノ不便ハ免レ難キ所ニシテ此ノ上トモ米人ニハ特別ノ取計ヲ爲シタキ所存ナルモ我方ノ立場モ良ク諒解シ置カレタキ旨懇ニ説明シタル處米總領事ハ御話ノ次第ハ良ク承知シ居リ日本側ノ好意的取扱ニ對シテハ感謝シ居ル所ナルモ米國人ノ立場ニ付テモ充分御察シ願ヒタク現ニ米會社石油等積載ノ「トラツク」ノ簡易通過乃至米會社使用ノ重要支那人ニ對スル「パツス」發給等ニ付米商人側ヨリ種々陳情ニ接シ居ルニ付特別ノ考慮ヲ拂ハレタキ旨ヲ述ヘ其ノ際米會社使用ノ支那人勞働者ハ夫々ノ會社ニテ寢所、食料ヲ供給シ英租界内ニ罐詰ニシ居ルモ此ノ狀態カ永ク續ケハ之等ニ對シテモ苦情生シ來ル可シトテ交通管制限長期ニ亘ル場合ノ米國ノ苦情ヲ仄カシ居タリ別レ際ニ本官ヨリ貴總領事ノ平素日本側ニ對スル友好的態度ヨリ考ヘルモ貴官ノ本國政府ニ對スル現狀報告ハ日本ニ好意的ナルヲ信シ居レリト輕ク觸レタルニ米總領事ハ兎モ角「ヘヤー」ナ報告ヲ送り居レリト答ヘタリ

北京、上海、米へ轉電セリ

1543

昭和14年7月16日

在天津田代總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

将来における天津の經濟活動は租界を度外視  
して遂行する旨を租界対策經濟委員會で軍側  
が表明について

天津 7月16日後発

本省 7月16日夜着

第四八九號

當地軍側ニテハ租界問題ニ關聯シ我方トシテハ經濟的對策ヲ研究スル目的ヲ以テ租界對策經濟委員會ナルモノヲ組織シ(委員長本間部隊參謀長、委員關係部隊係官、當館館員、民團長、商工會議所會頭、専門委員各業者幹事特務機關委細郵報)十三日第一回會合ヲ催シタルカ十五日ノ第二回委員會席上ニ於テ參謀長ヨリ軍トシテハ東京交渉ノ成否如何ニ拘ラス將來當地ノ經濟活動ハ租界ヲ度外視シテ遂行セラルル如ク施設スル決心ニテ從テ日英會談ノ結果檢問ヲ停止スル場合ニモ日支人商社ノ租界復歸ヲ許サス租界ハ主トシテ住宅地域等ニ利用スルニ止マリ經濟活動ノ中心ヲ第三區ニ置クヘク都市計畫ノ遂行ヲ促進シツツアル旨披露シ相當

ノ衝動ヲ與ヘタル模様ナリ

建設總處ノ係官ノ説明ニ依レハ特三區中現在飛行場ニ使用  
シツアル部分及其ノ下流ノ鐵道線路白河間ノ土地ハ埋立  
ノ上分譲スル豫定ナルモ右以外ノ特三區ハ其ノ儘利用シ得  
ヘキニ依リ(但「ニコライ」路白河間ノ土地ハ倉庫用地ト  
シテ留保ス)約三ヶ月後ニ豫定セラレ居ル軍需用品置場ノ  
解除力實施次第各商社ノ移轉可能ノ由ナリ商社中現實ニ移  
轉ヲ計畫シ居ルモノ存在セサル模様ナルモ租界復歸不許可  
ノ聲明及特三區使用可能ノ時期ノ發表ニ依リ早晚右形勢ハ  
促進セラルヘシト認メラル尙當地都市計畫ハ前記埋立モ含  
ミ昭和十六年度テ以テ一應完成ノ豫定ナル趣ナリ  
北京、上海、青島、濟南ヘ轉電セリ

1544

昭和14年7月22日 在シドニー秋山総領事より  
有田外務大臣宛(電報)

天津における侮辱的取扱いは英国民全部を排  
日に向かわせるおそれがあるとのオーストラ  
リア外相の内話について

第一六二號(館長符號扱)

往電第一六一號ニ關シ

「ガ」ハ天津ニテ婦人ヲ検査上 search セルコトニ關シテハ  
英帝國各人ハ永久ニ忘ルル能ハサル點ナリト極言シタルカ  
當領有力者又ハ有志記者ハ何レモ此ノ點ニ付日本軍隊ノ遣  
方ヲ遺憾ト致シ居リ中ニハ天津租界占領セラルルモ親日家  
トシテハ辯明シ得ルモ右ノ點丈ハ辯明スル由ナク英國民全  
部ヲ驅リテ日本ノ度シ難ク強ヒテ排日ニ向ハシムルモノナ  
ルコトヲ痛感スルニ付日本當局トシテハ適法ニ行ヘルコト  
ヲ適宜聲明セラルルコト一案ナリト言ヒ居ルモノアリ本件  
ハ今後ノ日英關係ヲ律スル上ニ於テ將又北支建設ニ當リ白  
人ヲ律スル上ニ於テ相當重視スヘキ點ト存セラル當領トシ  
テ特ニ啓發上必要ナルニ付眞相並ニ貴見承知致度ク何分ノ  
儀御回電ヲ請フ

シドニー 7月22日後発  
本省 7月22日夜着